



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本ゼオン株式会社

コード番号 4205 URL <https://www.zeon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中公章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 曾根芳之 TEL 03-3216-2747

四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	294,205	9.5	27,835	△23.5	31,087	△20.5	18,283	△33.2
2022年3月期第3四半期	268,756	24.2	36,405	72.8	39,127	70.7	27,364	56.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 32,958百万円(13.9%) 2022年3月期第3四半期 28,939百万円(29.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	86.35	86.30
2022年3月期第3四半期	125.09	125.00

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	538,224	343,817	63.2
2022年3月期	484,660	321,836	65.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 340,120百万円 2022年3月期 318,623百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	ー	13.00	ー	15.00	28.00
2023年3月期	ー	18.00	ー		
2023年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	387,000	7.0	28,000	△37.0	31,500	△36.3	18,500	△44.6	87.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

連結業績予想の修正については、本日(2023年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	229,513,656株	2022年3月期	237,075,556株
2023年3月期3Q	18,235,148株	2022年3月期	22,850,333株
2023年3月期3Q	211,733,751株	2022年3月期3Q	218,755,127株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年1月31日(火)に証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料については、開催に先立ち当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間を振り返りますと、世界経済動向に次第に陰りが見られるようになってきたことに加え、原料、電力・エネルギー価格及び物流費を含む全世界的な物価の高騰、また依然として緊張状態にある米中関係の影響やロシアのウクライナ侵攻による影響等、当社グループを取り巻く環境としては先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループはこのような環境のもとで、「ZΣ運動」による徹底したコスト削減や、生産革新活動に注力するとともに、エラストマー素材事業におきましては採算性の重視と生産・販売のグローバル展開、高機能材料事業におきましては付加価値の高い新製品の開発と事業拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,942億5百万円となり、前年同期間に比べて254億48百万円の増収となりました。また、営業利益は278億35百万円と前年同期間に比べて85億70百万円の減益、経常利益は310億87百万円と前年同期間に比べて80億39百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は182億83百万円と前年同期間に比べて90億82百万円の減益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

#### (エラストマー素材事業部門)

合成ゴム関連では、半導体不足等により自動車生産台数が伸び悩む中、国内販売は底堅い需要に支えられ堅調に推移しましたが、合成ゴムの主力生産工場の定期修理に伴い出荷量を調整した結果、輸出版売数量は前年同期間を下回りました。一方、原料高騰分等の価格転嫁が進んだことから、全体の売上高、営業利益はともに前年同期間を上回りました。

合成ラテックス関連では、医療・衛生用手袋の流通在庫が引き続き過剰で需給が緩んだことに加え、原料高騰の影響も重なり、売上高、営業利益ともに前年同期間を大幅に下回りました。

化成品関連では、原料及び物流費上昇分の価格転嫁を進めたことから売上高は前年同期間を上回りましたが、価格改定の反動と粘着テープ・ラベル向けの需要減や燃料高騰の影響等を受け、営業利益は前年同期間を下回りました。

以上の結果、エラストマー素材事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて194億8百万円増加し1,673億33百万円、営業利益は前年同期間に比べて37億21百万円減少し122億9百万円となりました。

#### (高機能材料事業部門)

高機能樹脂関連では、医療用途向けの需要は堅調でしたが、大型テレビ向け等で顧客の在庫調整が発生し、光学フィルムの販売が振るいませんでした。この結果、高機能樹脂関連全体の売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

電池材料関連では、コロナウイルスによる中国ロックダウンや、LIB原料の調達難及び価格高騰による顧客の稼働率低下等の影響を受けましたが、販売数量、売上高ともに前年同期間を上回りました。一方、原料及び燃料高騰の影響や新製品開発費用の増加等により、営業利益は前年同期間を下回りました。

化学品関連では、合成香料、特殊溶剤用途ともに需要が堅調に推移したことに加え、為替円安の影響並びに原料及び物流費高騰分の価格転嫁を進めたことにより、売上高、営業利益ともに前年同期間を上回りました。

電子材料関連では、年度後半に入り、半導体メーカーの稼働率低下が顕著となってきた影響を受け、売上高、営業利益ともに前年同期間を下回りました。

トナー関連では、テレワーク特需の一巡や流通在庫調整の影響を受けましたが、為替円安の影響により売上高は前年同期並みとなりました。一方、原料の高騰や棚卸資産の評価損等により、営業利益は前年同期間を下回りました。

以上の結果、高機能材料事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて11億88百万円増加し815億3百万円、営業利益は前年同期間に比べて38億55百万円減少し165億41百万円となりました。

#### (その他の事業部門)

その他の事業においては、子会社の商事部門等の売上高が前年同期間を上回りました。

以上の結果、その他の事業部門全体の売上高は前年同期間に比べて56億7百万円増加し484億64百万円、営業利益は前年同期間に比べて5億26百万円減少し14億5百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、535億64百万円増加し、5,382億24百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、商品及び製品、受取手形及び売掛金の増加等によるものです。

(負債)

当四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ、315億83百万円増加し、1,944億7百万円となりました。前連結会計年度末との差の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加等によるものであります。

(純資産)

当四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ、219億82百万円増加し、3,438億17百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、最近の業績動向を踏まえ、2023年3月期の連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日(2023年1月31日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	47,271	29,389
受取手形及び売掛金	78,806	89,607
電子記録債権	3,692	3,401
商品及び製品	66,076	94,460
仕掛品	6,652	7,827
原材料及び貯蔵品	20,348	23,642
未収入金	41,156	51,220
その他	11,044	13,533
貸倒引当金	△99	△112
流動資産合計	274,947	312,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	46,706	45,309
機械装置及び運搬具（純額）	38,995	38,511
土地	18,151	18,302
建設仮勘定	10,153	18,357
その他（純額）	4,293	4,530
有形固定資産合計	118,299	125,008
無形固定資産		
その他	3,249	4,098
無形固定資産合計	3,249	4,098
投資その他の資産		
投資有価証券	80,729	88,631
繰延税金資産	616	714
その他	7,040	7,025
貸倒引当金	△219	△219
投資その他の資産合計	88,166	96,151
固定資産合計	209,713	225,258
資産合計	484,660	538,224

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,833	96,284
電子記録債務	3,161	3,764
短期借入金	8,960	9,546
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	7,042	1,371
賞与引当金	2,823	619
修繕引当金	3,275	4,624
その他の引当金	100	71
その他	23,458	53,273
流動負債合計	138,653	169,553
固定負債		
繰延税金負債	3,243	4,393
退職給付に係る負債	13,602	14,210
修繕引当金	2,021	303
その他の引当金	69	40
その他	5,237	5,908
固定負債合計	24,172	24,855
負債合計	162,824	194,407
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,211	24,211
資本剰余金	19,162	19,137
利益剰余金	272,679	276,076
自己株式	△23,000	△19,024
株主資本合計	293,053	300,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,186	23,844
繰延ヘッジ損益	2	△5
為替換算調整勘定	4,767	16,245
退職給付に係る調整累計額	△384	△366
その他の包括利益累計額合計	25,570	39,718
新株予約権	126	88
非支配株主持分	3,086	3,610
純資産合計	321,836	343,817
負債純資産合計	484,660	538,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	268,756	294,205
売上原価	178,774	204,940
売上総利益	89,983	89,265
販売費及び一般管理費	53,578	61,430
営業利益	36,405	27,835
営業外収益		
受取利息	248	140
受取配当金	1,807	2,545
為替差益	309	585
持分法による投資利益	90	93
雑収入	752	441
営業外収益合計	3,206	3,804
営業外費用		
支払利息	96	67
休止固定資産減価償却費	118	173
寄付金	4	149
雑損失	267	162
営業外費用合計	484	551
経常利益	39,127	31,087
特別利益		
固定資産売却益	3	3
投資有価証券売却益	—	47
特別利益合計	3	50
特別損失		
固定資産処分損	335	121
減損損失	28	5,732
投資有価証券評価損	220	—
投資有価証券売却損	224	3
その他	27	140
特別損失合計	833	5,996
税金等調整前四半期純利益	38,296	25,142
法人税等	10,687	6,642
四半期純利益	27,609	18,500
非支配株主に帰属する四半期純利益	245	217
親会社株主に帰属する四半期純利益	27,364	18,283



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	27,609	18,500
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,629	2,658
繰延ヘッジ損益	△2	△7
為替換算調整勘定	2,264	11,507
退職給付に係る調整額	1,773	18
持分法適用会社に対する持分相当額	△77	281
その他の包括利益合計	1,330	14,458
四半期包括利益	28,939	32,958
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,748	32,431
非支配株主に係る四半期包括利益	191	528

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(原価差異の繰延処理)

季節的に変動する操業度等により発生した原価差異は、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）および流動負債（その他）として繰り延べております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	147,926	80,314	228,240	42,857	271,097	△2,340	268,756
外部顧客への売上 高	145,948	80,295	226,243	42,513	268,756	—	268,756
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,978	19	1,997	343	2,340	△2,340	—
計	147,926	80,314	228,240	42,857	271,097	△2,340	268,756
セグメント利益	15,930	20,396	36,326	1,931	38,257	△1,852	36,405

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,852百万円は、セグメント間取引消去41百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,892百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示していません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載していません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額の重要性が乏しいため、記載を省略してあります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	エラストマー 素材事業	高機能材料 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	164,753	81,486	246,239	47,965	294,205	—	294,205
外部顧客への売上 高	164,753	81,486	246,239	47,965	294,205	—	294,205
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	2,580	17	2,596	499	3,095	△3,095	—
計	167,333	81,503	248,836	48,464	297,300	△3,095	294,205
セグメント利益	12,209	16,541	28,750	1,405	30,155	△2,320	27,835

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RIM配合液、塗料等の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,320百万円は、セグメント間取引消去22百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,342百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の源泉から生じる収益の額に重要性がないことから、顧客との契約から生じる収益と区分して表示しておりません。

5. 一定の期間にわたり移転される財又はサービスから生じる収益は重要性がないことから記載しておりません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エラストマー素材事業」、「高機能材料事業」、各報告セグメントに配分していない「全社資産」において減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「エラストマー素材事業」70百万円、「高機能材料事業」162百万円、「全社資産」5,500百万円であります。